

第35回定期演奏会へ向けて

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年11月13日（日）第35回定期演奏会

記事

同仁キリスト教会礼拝堂にて、第35回定期演奏会

14時 オルガン搬入
15時～ 舞台準備、発声
15時半～17時 ゲネプロ(演奏順に全曲)
17時半 開場
18時 開演
19時半 終了
20時～22時 「タベルナ・アイ」にて打ち上げ

備考

16日(水)は、練習はありません。
次の練習は23日(水・祭)です。午後3時から8時まで時間を取ってありますが、早く終わる可能性があります。場所は3階です。
早速新曲の練習に入りますので、配布した楽譜を忘れないようにお持ちください。来年の定演は10月8日で、練習期間が短いので早めに音取りを済ませるように頑張りましょう！

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年11月12日（土）

練習箇所

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20
Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

3階の部屋に6時に集合して、椅子や譜面台の準備をして、6時半からオケ合わせ。
8時20分頃まで。オケの方が帰られてから、シュッツの練習をしました。

内容

★Herzlich lieb hab ich dich

351小節からクレッシェンド。

352小節のTageのTaにアクセント。

413～438小節のHerr, Jesu Christは、それぞれの単語の最初にアクセントを付けます。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

備考

明日13日(日)は礼拝堂に集合。正式には3時15分前からしか入れませんが、なるべく早めに待機して下さい。リハーサルの前にオルガン搬入他、色々準備があります。

3時半からリハーサル開始です。最初はシュッツで、ブクステフーデは4時から5時まで。

5時半開場、6時開演。

 [冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年11月9日 (水)

練習箇所

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

Buxtehude: Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。

全体発声は27分。

内容

★Es ist erschienen 13ページkの部分の最初の二つの4分音符der sichは、それぞれはっきりと。次のselbst fuer unsは、selbstの付点4分音符を音価いっぱいのはさず短めに。少し隙間を開けて次のfuer unsに入りましょう。

★Herr, auf dich traue ich cとdの部分で、errette michは元気に、nach deiner Barmherzigkeitは柔らかくという具合に変化を付けましょう。

★Ich bin eine rufende Stimme

dの部分に出て来るWasserは、日本語のヴァッサーにならないように注意。語尾の「サー」は口を開け過ぎないように曖昧に。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

2. Versusと3. Versus(67小節から最後まで)練習しました。

最初に479～513小節までを練習。次に475小節から歌って、Amenに入る練習。

476小節から少しずつrit.して478小節に入り、フェルマータのあとは完全に終わってから、新しくAmenに入ります。517～518小節もrit.します。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

欠席：1名(テノール)

備考

今回の練習は12日(土)で、場所は3階です。

オケ合わせは6時半からですが、6時から譜面台などの準備をしますので、時間の都合が付く方のご協力をお願いします。

■冒頭へ

月初の練習日に移動

2016年11月6日 (日)

練習箇所

Buxtehude: Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

3時に同仁教会礼拝堂集合。譜面台やキーボードを用意してから発声を15分ほど行い、3時半からオケ合わせを行いました。

最初に全部の楽器が入るBuxWV41から、次にヴィオラが入らないBuxWV20を練習。

5時45分頃まで。

そのあと、いつもの2階の部屋で軽食をとってから、礼拝堂に戻りシュッツを練習しました。

内容

★Es ist erschienen

フレーズを認識しながら、抑揚を付けて歌いましょう。

★Herr, auf dich traue ich

39・40ページに出て来るlass michの2つの4分音符は同等ではなく、lassの方を強調します。

39ページのbに入る前のアルト・テノール・バスは、テンポと音量を少し落とします。

40ページcの部分のerretteの付点4分音符は、4分音符と8分休符にして、-retteを強調します。それに続く nach deiner Barmherzigkeitは柔らかく。

★Ich bin eine rufende Stimme

dの部分で、Wasserの語尾にアクセントが付かないようにおさめましょう。
gの部分の入りをはっきり。

★Ein Kind ist uns geboren

★Das Wort ward Fleisch

nの出だしのals desの二つの4分音符はどちらもしっかり歌いましょう。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村

備考

次の練習は9日(水)の通常練習です。
発声個人レッスンはテノールの大庭さん。

12日(土)は3階で2回目のオケ合わせです(6時半～8時半)。
譜面台やキーボードの準備がありますので、時間の都合が付く方は早めに集合して下さい。
ブクステフーデのオケ合わせの後、9時までシュッツを練習します。

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年11月2日 (水)

練習箇所

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20
Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

記事

発声個人レッスンは平石さんでした。
全体発声は20分。

内容

★Es ist erschienen

通しました。注意は語尾を揃える事と、フレーズの終わりのハーモニーをきれいに。

★Herr, auf dich traue ich

通しました。

★Ich bin eine rufende Stimme

72・73ページのbとcの部分で、Richtet den Wegの4つ続く同じ音は真っすぐ平らな道を、続く付点音符はデコボコな道を表しているという説があるそうです。

73ページdの部分のIch taufeの音型は洗礼を授けている様子を、mit Wasserは水滴がしたたり落ちる様子を表しているという説があるそうです。

★Ein Kind ist uns geboren

通しました。

★Das Wort ward Fleisch

90ページのnからのals des eingebornen Sohnsのフレーズは、最初のalsとdesを一つずつはっきり歌い、eingebornen Sohnは滑らかに歌います。

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

73小節から最後まで(3拍子の部分)を練習しました。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

最初に167～183小節(3拍子の部分)を練習。

次に145～183小節までを練習。167小節頭の～benは短く。

184～210小節・・・205小節からのAllegroのテンポに乗り遅れないように、指揮に注意！

211～266小節は、テンポの移り変わりが激しいので、指揮を良く見て歌いましょう。

316小節からは柔らかい感じで。

359小節からは元気に。

479小節のAllegroからのテンポに注意。ヘミオラがたくさん出て来るので注意。

67小節から144小節も練習しました。後半はヘミオラがたくさん出て来るので注意。

1. Versusを除き、全て練習しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

欠席：1名(テノール)

備考

本番の楽譜カバーを大久保さんが用意して下さいました。各自カバーを付けておいて下さい。(グレー・・・第1ステージ、オレンジ色・・・第2ステージ)

6日(日)は第1回目のオケ合わせです。3時集合。3時半から5時半までブクステフェーデのオケ合わせ。小休憩後にシュツを練習して、8時に終了の予定です。

9日(水)は通常練習です。発声個人レッスンは大庭さん(テノール)です。

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年10月26日 (水)

練習箇所

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20
Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。
全体発声は27分。

内容

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

14小節のFriede~のdeはアクセントが付かないように、曖昧に。

21小節3拍目の~ferは語尾なので強くならないように。

24小節1拍目のundは単なる接続詞なので、強くならないように。3拍目のTodに向けて自然に膨らむように。

38小節のstoessetのstoe~は力強く。40小節のKriegも強く。

41小節のUngemachのgeが鼻濁音になっている人がいるのが気になりました！

51小節の付点4分音符は延ばし過ぎないように、短めに。

52小節のnit(=nicht)は強く。

73小節からの3拍子の部分はテンポを早めます。

ヘミオラの個所・・・81・82小節、93・94小節、103・104小節、110・111小節、120・121小節、126・127小節、134・135小節、140・141小節、144・145小節、150・151小節、154・155小節。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

最初に3拍子の個所を練習。

79~144小節のヘミオラの個所・・・85・86小節、101・102小節、113・114小節、116・117小節、119・120小節、122・123小節、125・126小節、128・129小節、142・143小節。

167~183小節のヘミオラの個所・・・181・182小節。

次に最初から183小節までを通しました。

177~179小節のテノールのフレーズは軽く歌いましょう。重くなるとテンポが遅れて他のパートとずれてしまいます！

184~296小節のヘミオラの個所・・・284・285小節、294・295小節。

297~358小節を通しました。

358と359小節の間に2縦線を書いて下さい。359小節から力強い音楽に切り替えます。

ヘミオラの個所・・・397・398小節、455・456小節、468・469小節、472・473小節、476・477小節。

バスは、未だに382小節の入りの音がいつも危ないので要注意です！！ 前の小節で第1ヴァイオリンが先に同じ音を弾いているので、良く聴いて入りましょう。

478小節のあとも2縦線を書いて下さい。

479小節から最後までへのミオラの個所・・・480・481小節、483・484小節、486・487小節、489・490小節、492・493小節、502・503小節、505・506小節、508・509小節、511・512小節、514・515小節、517・518小節。

★Es ist erschienen

通しました。waereのA-ウムラウトは狭くならないように。

★Herr, auf dich traue ich

通しました。

★Ich bin eine rufende Stimme

通しました。

★Ein Kind ist uns geboren

通しました。

★Das Wort ward Fleisch

通しました。

シュッツは、ただ棒のように歌っているみたいだそうです！もう少し抑揚を付けて、言葉のニュアンスを考えて歌いましょう。

水野先生がプログラムのために書いて下さった原稿を配布しましたので、よく読んでおいて下さい。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 山村
欠席：2人(ソプラノ・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
11月2日・・・平石
9日・・・??

 [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年10月19日（水）

練習箇所

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20
Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。
全体発声は26分。

内容

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ
通しました。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr
通しました。

★Es ist erschienen

10ページ上段3小節目の後半のテノールを皮切りに、各パートがallen allenと歌いますが、アルトだけは他のパートと違う入り方をするので、その入りのAの音にアクセントを付けて下さい。

11ページ2段目eの部分のundからのフレーズは強い口調で歌いましょう。

11ページ最後から2小節目後半の和音をきれいに。光がさすように。

12ページgの部分のwartenの長い音は膨らませましょう。2段目のHoffnungも同じ。

12ページ下段2小節目の和音をきれいに。

★Herr, auf dich traue ich

最初のページ下段の下3声は、3小節目のwerdenに向けておさめるように歌いましょう。

42ページ3小節目の第1ソプラノは、undのあとhilftに早く行き過ぎないように、undに時間をかけて歌いましょう。gの部分最初のseiという言葉は、どのパートも4分音符ですが、アルトだけは2分音符になっているので、しっかり出しましょう。2段目のstarkerも他のパートと一拍ずれているので、このstar~もアクセントを付けて強調させましょう。

★Ich bin eine rufende Stimme

通しました。

★Ein Kind ist uns geboren

通しました。

★Das Wort ward Fleisch

通してから、91ページのoの部分から最後までを返しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西

欠席：2人(アルト・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

10月26日・・・柿沼

11月2日・・・未定

2016年10月12日（水）

練習箇所

Buxtehude: Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41
Schuetz: Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Es ist erschienen, SWV371

記事

発声個人レッスンは辻村でした。
全体発声は39分。

内容

★Herzlich lieb hab ich dich

バスの98小節最後のGの音が上がり切らない事が多いので注意。
wasという言葉の母音で延ばしていて、99小節最後のichの前にsを入れるのを忘れないように。
167小節の全音符は延ばさず、2分音符と2分休符にします。
テノールの177～179小節の細かい音符は、軽い声で正確に。フレーズ最後の-deは曖昧に。
198小節はテンポを緩めずのまますぐ行きます。
249小節のアルトの全音符は、テノールと同じ2分音符と2分休符にします。
382小節のバスの入りの音を正確に。
最後のAmenはヘミオラを意識して歌いましょう。

★Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns

88ページのiからの部分の「ソシレ」や「ドミソ」の和音をきれいにハモらせましょう。

★Ein Kind ist uns geboren

82ページ3小節目の「ファラド」の和音をきれいに。
2段目2小節目の第2テノールは、EからFisにしっかり上がりましょう。
84ページ4小節目の-keitは短めにしてブレスしましょう。3パートが揃うように注意。
2段目終わりから最後まで和音がきれいにハモるように。

★Ich bin eine rufende Stimme

通しました。

★Herr, auf dich traue ich

通しました。

★Es ist erschienen

通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
全員出席でした！

備考

発声個人レッスンの予定
10月19日・・・大久保

 [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年10月5日（水）

練習箇所

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20
Schuetz: Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Herr, auf dich traue ich, SWV377

記事

発声個人レッスンは中西さん(ソプラノ)でした。
全体発声は35分。

内容

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

102小節から最後までを練習しました。

126～128小節のバスはヘミオラにします。

★Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns

86ページのdの部分は喜ばしい感じで。

88ページのiの部分のvoller GnadeのGをもう少し鳴らしましょう。次のGnade und Wahrheitは、Gnadeとundがつながらないように隙間を入れましょう。

★Ein Kind ist uns geboren

最初に82ページ2段目のfとgの部分を練習しました。

gの部分のund des Friedes kein Endeは、Friedesとkeinの間に休符がありますが、ひとつながりの文章に感じて歌いましょう。

80ページのbの前で一旦終わり、bから新しく入ります。最初に出る第2テノールとバスは要注意。

84ページのder Eiferは、derとEiferの間に少し隙間を開け、Eiferの最初の母音をしっかり立てて破裂させて歌いましょう。ZebaothのZeもはっきり。

★Ich bin eine rufende Stimme

76・77ページのdass ichの二つの8分音符のリズムを慎重に正確に歌いましょう。

★Herr, auf dich traue ich

通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
全員出席でした。

備考

発声個人レッスンの予定

10月12日・・・辻村

コンサートのお知らせ

♪ 10月10日(月・祭) 14時 東京オペラシテイコンサートホール
三菱東京UFJ銀行合唱団定期演奏会
ヘンデル：メサイア

指揮：水野克彦
ソプラノ：星川美保子
アルト：谷地畝晶子
テノール：辻 裕久
バス：青山 貴

中西さんと平石さんが合唱で参加します。

♪ 10月28日(金) 19時 聖パウロ教会
東京スコラ・カントールム定期演奏会
シャルル・グノー：主の祈り
小ミサ第7番ハ長調
アントン・ブルックナー：ここは神が造られた場所
キリストは人間の姿で
ヨハネス・ブラームス：信仰の歌
カミーユ・サンサーンス：めでたし、まことのお体よ
ああ、救いのいけにえよ
ヨーゼフ・ガブリエル・ラインベルガー：受難の歌～聖週間に寄せて
6つの宗教的歌曲より

指揮：青木洋也
オルガン：中田恵子

翁長さんが合唱で参加します。

♪ 11月20日(日) 14時 上野学園石橋メモリアルホール
メンデルスゾーン基金日本支部2016年秋の集い
クルト・マズーア追悼記念コンサート
メンデルスゾーン：シンフォニア第9番ハ長調より第1楽章
弦楽八重奏曲変ホ長調op.20
モテットRichte mich, Gott, Ps.43
モテットTrauergesang, op.116

J. S. Bach: コラールJesu, meine Freude, ほか

指揮： 沖澤のどか/ 淡野弓子/ 淡野太郎

演奏： カメラータ・メンデルスゾーン2016/ 椎名雄一郎/ マズーア偕子

合唱： ハイブリット・シュツツ合唱団・東京/ メンデルスゾーン・コア/

エクメーニッシュェ・カントライ東京ー横浜

山村さんが合唱で参加します。

♪ 12月3日(土) 13時45分 所沢市民文化センター ミューズ・アークホール

合唱団さきたま定期演奏会

J. S. バッハ： クリスマス・オラトリオ第1部～第3部

M. シャルパンティエ： 真夜中のミサ曲

指揮： 岡本俊久

ソプラノ： 松井亜希

アルト： 小泉詠子

テノール： 藤井雄介

バス： 原田 圭

管弦楽： アンサンブル・アルス・ノヴァ

小沢さんが合唱で参加します。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年9月28日 (水)

練習箇所

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20
Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。
全体発声は30分。

内容

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ
通しました。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

44ページのmein Heilandの三つ連続した二分音符は、真ん中のHeiにアクセントがあります。landは押さないよう

に。
51ページ最後のAllegroからテンポを変えるので注意！

★Es ist erschienen

11ページのdから2小節間の和音の変化に注意。
13ページ3段目のバスから始まるauf dass er の三つの8分音符は急がないように。
3つは同じではなく、二つ目のdassに重さが来るように。
曲の最後の和音をきれいに。

★Herr, auf dich traue ich

最初のページ2段目のbの第1ソプラノの入りは、曲の最初のテノールと同じように柔らかく静かに入ります。
zugesaget等のzuの母音が浅くなってしまう事があるので気を付けましょう(特にアルト)。

★Ich bin eine rufende Stimme

76ページ2段目最初のテノールは、ブレーキをかけず、前に進みましょう。
76ページ3段目最初のアルトのカデンツをきれいに。特に小節最後のA#の音に注意。
77ページ2段目最初と、3段目3小節最初のドミソの和音をきれいに。

★Ein Kind ist uns geboren

82ページ2段目2小節目のD・F#・Aの和音をきれいに。

★Das Wort ward Fleisch

通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：1名(テノール)

備考

発声個人レッスンの予定
10月5日・・・中西(ソプラノ)

 [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年9月22日 (木)

練習箇所

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20

記事

中野のSpace415での練習でした。午後3時から8時の予定でしたが、7時半過ぎに終わりました。
発声個人レッスンはお休み。
全体発声は33分。

内容

★Es ist erschienen

11ページのdの部分のdass wirは、両方ともテヌート気味に歌いましょう。
sollenの二つのlを意識しましょう。「ゾーレン」に聞こえないように。
LuesteのU-ウムラウトは、「リュステ」にならないように、もう少し「イ」の要素を入れましょう。
13~14ページの3つの8分音符についてのauf dass erという言葉をもっと流暢に。
erloeseteのO-ウムラウトに注意。
fleissigのfや、waere、Werkenのw等の子音にもっと時間を掛けましょう。

★Herr, auf dich traue ich

fの部分の最初の3小節間を、アルトとバスで練習しました。41ページ最後の同じFの音がきれいに決まるように。42ページ2拍目のAとCisの和音も決まるように。
zuやzugesagetのuが浅くならないように注意。
42ページ3小節目の第1ソプラノは、undの後に間を開けましょう。

★Ich bin eine rufende Stimme

71ページ下の段から出て来るin der Wuestenは、inの長い音を膨らませましょう。
74ページfの部分で、第1ソプラノとアルトの入りは、アタックを付けずに静かに入りましょう。短3度の和音の連続がきれいに決まるように。
75ページの第2テノールの入りは、denと ihrの間に隙間を入れましょう。

★Ein Kind ist uns geboren

80ページbのWelchesのcheの発音に注意。
82ページgの部分で、undは最後のdもしっかり発音しましょう。決して「ウン」に聞こえないように。
Endeは、最後のdeの方が強くなるように。
kの部分で四分音符が連続して出て来ますが、全部均等にならないように。
nunとEwigkeitの最初のEを長目に。

★Das Wort ward Fleisch

最初のDasはWortに向かって少し膨らませる感じで。WortのWの子音を前に。
Gnadeのdeを押さないように。アクセントはnaにあります。
iの部分のソシレの和音とドミソの和音が崩れないように。一番下で支えているバスは軽めに歌いましょう。
alsのlとsの子音をしっかりと発音しましょう。

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

Friedeのdeを押さないように。
20小節のstarkerは、語尾を曖昧に。
21小節のNothelferは、Noにもheにもアクセント。
40小節のKriegのKは拍の前に出しましょう。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

2. Versusの最初のes ist jaの三つ連続した8分音符は、均等ではなく二つ目のistに重さが来るようにします。
104小節のLeibの最後の子音を飛ばしましょう。
141小節のdiesemのm、次のarmenのnも最後までしっかり発音しましょう。

167小節は、～benを歌った後、隙間を入れます。

6ページ最後のバスの16分音符を正確にお願いします。「レミファミ」が「レミファレ」にならないように。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：2名(テノール)

備考

発声個人レッスンの予定
9月28日・・・大庭(テノール)
10月5日・・・中西(ソプラノ)

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年9月21日 (水)

練習箇所

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。
全体発声は25分。

内容

★Es ist erschienen

11ページ3段目fに入ったところのドミソの和音をきれいに。
zuechtigのU-ウムラウトの発音に注意。
13ページのkから14頁のnの前までの言葉をもう少し流暢に。
kの部分のderとsichははっきり歌いましょう。
vonのvを拍の前に出しましょう。
mの部分のundのuが狭くならないように。

★Herr, auf dich traue ich

最初は穏やかに始め、traueの言葉に入ったら膨らませて、ichでおさめましょう。
bの部分も同じに。
eの部分のNeigeは膨らみを付けましょう。
gの部分のseiは、はっきり出しましょう。
42ページ中段のテノールとバスのfliehenの長い音は膨らませましょう。

次のmoegeも同じ。

★Ich bin eine rufende Stimme

75ページの第2テノールの入りは、きっぱりと。denとihrはつなげないように。
それに続く他のパートも同じように。

★Ein Kind ist uns geboren

84ページ4小節の男声は、Ewigkeitの語尾を歌い過ぎないようにおさめましょう。
mの前のZebaothも同じ。

★Das Wort ward Fleisch

1度通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
久し振りに全員出席でした！(8月3日以来)

備考

発声個人レッスンの予定
9月28日・・・大庭(テノール)
10月5日・・・中西(ソプラノ)

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年9月14日 (水)

練習箇所

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20
Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41
Schuetz: Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

記事

発声個人レッスンは平石さんでした。
全体発声は28分。

内容

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

83・95小節の-lenは語尾なので押さないように。

★Herzlich lieb hab ich dich

通したあと、バスのために19ページ下段から22ページ上段を練習。
45ページ下段から47ページ下段も。

★Das Wort ward Fleisch

6小節目のFleischの最初の子音Fl-は拍の前に出して発音して、最後の子音-schはしっかり飛ばして歌いましょう。Herrlichkeitの-keitは歌い過ぎないようにおさめましょう。

Vaterは膨らませて、語尾はおさめましょう。(87ページ上段最後と88ページ上段最後)

iとoの部分のvollerの最初の子音をしっかりと発音しましょう。アルトは他のパートとずらして書かれているので、強調しましょう。

voller Gnadeのvol-とGna-は膨らませてから、語尾はおさめましょう。

Gnadeの語尾は曖昧に。

★Ein Kind ist uns geboren

最初に、cからfの前までの言葉が立て込んでいるところを練習してから通しました。

★Ich bin eine rufende Stimme

最初に通しました。

71ページ下段3小節目から6小節目までのアルトは、カデンツなのでかっちりと歌いましょう。72ページ3小節目後半から6小節目までも同じ。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定
9月21日・・・大庭()
28日・・・大庭()
10月5日・・・中西(ソプラノ)

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年9月7日 (水)

練習箇所

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20
Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41
Schuetz: Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。

全体発声は35分。

内容

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

和音や発音を修正しながら通しました。

18小節のフレーズ最後の和音を決めましょう。

60小節のGedenkeの発音に注意。deのあとすぐにnに行かず、deを長く。

62小節の和音を決めましょう。

155小節はテノールだけamenのmenの入れ方が他のパートと異なっているので注意。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

一度通しました。

★Es ist erschienen

最後のzu guten Werkenのzuの発音に注意。uが浅くならないように。

Werkenの語尾のkenはアクセントが付かないように静かに。

★Herr, auf dich traue ich

最初は長い音符でゆったりと歌っていますが、lass mich nimmermehr zu Schanden werdenの部分は雰囲気を変えます。lassに入るのに時間がかかり過ぎている(食いつきが悪い)ので注意。lass mich nimmermehrは4分音符の連続ですが、全部同じように歌わずlass、nim、mehrに重さが来るように歌いましょう。

Erretteはreに重さが来るように。

und hilf mirの連続した三つの4分音符は、全部同じではなく真ん中のhilfに重みが来るように歌いましょう

neigeの最初の長い音符は膨らませて。「私の言う事に耳を傾けて下さい。」という気持ちを籠めて。

42・43ページのein Hort, dahin ich immerの連続した8分音符は、全部同じに刻まずにアクセントの付いている言葉(前拍)を長目に歌いましょう。

特に指摘はありませんでしたが、zugesagetの4つ連続した8分音符も同じです。

この言葉の最初のzuは浅くならないように注意。

★Ich bin eine rufende Stimme

72ページbの前のWuestenの語尾はアクセントが付かないように曖昧に。次のRichttetの語尾tetは、小さく軽く歌いましょう。

発音のタイミングをビートに合わせてみましょう。Richttetの-tet等。ビートの一拍一拍を意識して歌いましょう。

★Ein Kind ist uns geboren

1度通しました。

★Das Wort ward Fleisch

1度通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西

欠席：2人(バス)

備考

発声個人レッスンの予定

9月14日・・・平石

21日・・・大庭()

28日・・・大庭()

2016年8月31日 (水)

練習箇所

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20
Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。
全体発声は26分。

内容

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ
1度通しました。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr
1度通しました。
167小節は、全音符は短めにしてしっかりブレスしましょう。

★Es ist erschienen
最初は遅いテンポで、次に少し早く歌いました。
11ページ2段目の最初の和音に注意。バスはF#が上がり切らない事が多いので注意。
3段目二つ目のドミソの和音をきれいに。特にバスは薄い声で。

★Herr, auf dich traue ich
最初は遅いテンポで通しました。
バスの41ページ最後の小節A→Fと、42ページ最初のF→C#の音程に注意。
43ページ2段目の3小節目、アルトとテノールの付点四分音符は少し膨らませましょう。
最後に少しテンポを上げて通しました。

★Ich bin eine rufende Stimme
遅いテンポで通してから、72ページ2段目と3段目を練習。力まないでもう少しリズムを柔らかく。
バスは2段目最後の小節の付点四分音符に続くC#を正確に。#が取れてしまわないように注意。3段目最初の小節のC#も同じ。部分練習では治っても、全パートで歌うとまた戻ってしまいます。今日も最後に通した時は、3段目がまた殆どCになっていたので要注意です！！

★Ein Kind ist uns geboren
2度通しました。

★Das Wort ward Fleisch

1度通してから、時間の都合でもう1度86ページのeの前まで歌って終わりました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大庭 堀江
テノール：小沢 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：2人(アルト・テノール各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

9月7日・・・柿沼
14日・・・平石
21日・・・大庭()
28日・・・大庭()

臨時練習のお知らせ

9月22日(木・祭) 午後3時～8時 中野のSpace415で行います。

♪ 演奏会のお知らせ2件

9月19日(月・祝) 13時30分開演 近江楽堂(東京オペラシティ3階)
ヴィオラ・ダ・ガンバ発表会 Kambist's Concert
ソプラノの名阪さんがトラヴェルソで出演します。

10月10日(月・祝) 午後2時開演 東京オペラシティコンサートホール
三菱東京UFJ銀行合唱団第6回定期演奏会
ヘンデル：メサイア

指揮： 水野克彦
ソプラノ： 星川美保子
アルト： 谷地敏晶子
テノール： 辻 裕久
バス： 青山 貴

ソプラノの中西さんと平石さんが合唱で参加します。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年8月24日 (水)

練習箇所

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20
Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

記事

発声個人レッスンは辻村でした。
全体発声は29分。

内容

★Du Friede fuerst, Herr Jesu Christ

1度通してから発音の修正をしました。uの母音に注意。特に30小節のzu。日本語の浅い「ツー」にならないように、子音のzと母音のuを分けて発音しましょう。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

1度通してから発音の修正をしました。

92小節からのmein Leib und Seelは、Leibの最後の子音のbをしっかり破裂させて発音してから次のuを発音しましょう。bとuがつながらないように注意。

267小節からのtroestのO-ウムラウトの発音に注意。

439小節からのerhoereのO-ウムラウトの発音に注意。

他にも14頁の下の段から出て来るzumやzu Nutz等のuの発音にも注意。

186～191小節のバスの練習をしました。189小節最初のDの音が低い事が多いので気を付けましょう。BehuetのU-ウムラウトの発音は、日本語のヒュウに聞こえてしまうので、もう少しイの要素を入れて下さい。舌が奥に引っ込まないように前に。

★Es ist erschienen

11ページdの部分のverleugnenのleugを強めに歌いましょう。

11ページ1段目から2段目に移る時に、バスが下に行き過ぎないように。F#は高めに。

13ページのkの部分der sich selbst fuer uns gegeben hatをしっかり発音しましょう。特にselbstとuns。unsのsは「ツ」に聞こえるくらいで構いません。

次のlの部分のauf dass er uns erloeseteもしっかり発音しましょう。

14ページのnの部分のdas fleissig waereは熱い口調で歌いましょう。

★Herr, auf dich traue ich

しんみりと歌い出しましょう。

cの部分のerrette michは、リズムを強調しましょう。

moegeのO-ウムラウトの発音に注意。

★Ich bin eine rufende Stimme

72ページ3段目最初のバスの音は、CではなくC#です。いつも低いので要注意！！

★Ein Kind ist uns geboren

1度通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西

アルト：大久保 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

欠席：2人(ソプラノ・アルト各1名)

備考

7月20日から練習に参加されているバスの椎野さんが、正式に入団されました。

発声個人レッスンの予定

8月31日・・・大久保

9月7日・・・柿沼

9月14日・・・平石

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年8月17日（水）

練習箇所

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは中西さん(ソプラノ)でした。

全体発声は24分。

内容

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

最初に、17ページのAmenから最後まで練習しました。

テノールの最後の四分音符のmeは軽く歌いましょう。

続いて73小節から最後まで歌いました。

78・90・100小節は、Wortのあとブレスなしで次のimに入りましょう。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

1度通しました。

★Es ist erschienen

2度通しました。シュッツを全曲練習した後にもう1度歌ったので、計3回歌いました。

cの部分のzuechtigetの最初の子音を立てて発音しましょう。でも優しい感じで。

★Herr, auf dich traue ich

2度通しました。

★Ich bin eine rufende Stimme

1度通してから、72ページのbとcの部分を練習しました。

計3度通しました。

eからは新しく出ます。hの部分はへりくだって歌い出しましょう。

★Ein Kind ist uns geboren

2度通しました。

男声は、出だしのEin Kindの最後の子音をしっかり発音しましょう。まだ次のistと繋がってKindistのように聞こえます。次のunsのsも聞こえず、ungeborenになっています。

★Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns

bの第2テノールのwohnetのC#に注意。

fの部分から何度か出て来るalsは重要な言葉なので、sを「ツ」に聞こえるくらいはつきり発音しましょう。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西
欠席：1名(バス)

備考

発声個人レッスンの予定

8月24日・・・辻村

31日・・・大久保

9月7日・・・

14日・・・平石

臨時練習の追加・・・9月22日(木・祭)

時間と場所は未定です。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年8月11日 (木)

練習箇所

Schuetz: Herr, auf dich traue ich, SWV377

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

Es ist erschienen, SWV371

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

記事

昨日に続き、中野のSpace415での練習でした。時間は15時から20時まで。

全体発声は45分。

内容

★Herr, auf dich traue ich

39ページ上段最後から各パートに出て来るlass mich nimmermehr zu Schandenの連続した四分音符は、全部同じに歌わず、長短の抑揚を付けて歌いましょう。

40ページ2段目のテノールから始まるErrette michは、出だしのEr~が一番強くなるように。アクセントは次のre

nachのchをしっかり歌いましょう。ナツハのようにッを入れないように。

41ページ2段目から出て来るNeige とdeineの二重母音のiを発音する時に、顎を動かさないように注意。iははっきり「イ」と言わないように。

42ページ中段最初のstarkerの語尾は「ケル」にならないように、「カー」に近く発音しましょう。

★Ich bin eine rufende Stimme

72ページのIn der Wuesteのフレーズは、長い音に抑揚を付けて奥行きを出しましょう。

derは少しだけ狭くして下さい。

72ページ3段目のバスの最初の音はC#です。Cになりかかっている事が多いので気を付けましょう。

★Ein Kind ist uns geboren

男声の出だしのein Kindのあと、istにつながらないように。

84ページのEiferは、アイフェルではなく、アイファーに近く発音して下さい。

★Das Wort ward Fleisch

85ページund wohnt unterの5つ並んだ四分音符が同じ長さにならないように。woh~とun~を長目に。

★Es ist erschienen

昨日の復習。2回通しました。

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

通した後、Amenの部分を練習。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

1度通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

8月17日・・・中西(ソプラノ)

24日・・・辻村

31日・・・大久保

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年8月10日 (水)

練習箇所

Buxtehude: Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

Schuetz: Es ist erschienen, SWV37

記事

中野のSpace415での練習でした。
発声個人レッスンは行いませんでした。
全体発声は27分。

内容

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr
通しました。

★Es ist erschienen

12ページ2段目のHoffnungを長い音符で歌っているアルトと第一ソプラノは、少し膨らませましょう。
13ページ2小節目は、フレーズの終わりを意識しましょう。次のunsersは、ウンゼルスと言わずにウンザースに近く発音しましょう。
JesuのJeはきっぱりと歌いましょう。
2段目のder sich selbstのderはディになり過ぎないように。selbstは、付点四分音符で延ばしている間に4つの子音を全部発音しましょう。
14ページ2段目のreinigetのgeは、日本語のゲにならないように曖昧に。4つの8分音符を全部同じに歌わずに、最初のrei-を長目に。ドイツ語を喋るように歌いましょう。
16ページのdas fleissig waereは、dasを歌った後、次のfleissigのfを早目に発音しましょう。fleissigの二つの四分音符は同じ長さにならないように、前の方を長く。
zuとgutenのuが浅くならないように。zuとgutenの間に少しくびれがあるように。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西
アルト：大久保 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：4人(ソプラノ・アルト各1名・バス2名)

備考

11月13日の演奏会のチラシとチケット(6枚)が配布されました。

発声個人レッスンの予定
8月17日・・・中西(ソプラノ)
24日・・・辻村
31日・・・大久保

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年8月3日 (水)

練習箇所

Schuetz: Ich bin eine rufende Stimme, BuxWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385
Buxtehude: Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。
全体発声は46分。

内容

★Ich bin eine rufende Stimme

最初のフレーズは一筆書きのように滑らかに。

72ページから始まるin der Wuestenのフレーズは、inを歌った後のderに入るタイミングに注意。他のパートを気にしながら歌いましょう。

Richtetのtetは語尾です。曖昧に。

72・73ページの付点音符のリズムを正確に。

★Ein Kind ist uns geboren

2回通しました。

★Das Wort ward Fleisch

1回通しました。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

1回通しました。

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

1回通しました。

★Herr, auf dich traue ich

1回通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村 椎野

欠席：1名(テノール)

備考

発声個人レッスンの予定

8月17日・・・中西(ソプラノ)

24日・・・辻村

31日・・・大久保

※ 来週10日(水)は練習場所が変更になります。時間はいつもと同じ6時半開始。

翌日11日(木・祝)も同じ場所で、こちらは時間が15時から20時になります。

両日とも中野のSpace415です。

2016年7月27日 (水)

練習箇所

Buxtehude: Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。
全体発声は50分！

内容

最初から最後までを、区切って練習しました。

1.Versus

20小節は、最初の2分音符を歌った後早めに切り、ブレスをして次の2分音符をしっかり歌います。51・52小節の最初の2分音符を膨らませて、Jesuをたっぷりと歌いましょう。

2. Versus

92小節からの各パートのmein Leib und Seelは、それぞれの単語の間に隙間を入れて丁寧に歌いましょう。Leibのbは破裂させて、次のundに繋がらないように。

108小節の第1ソプラノのEは、通奏低音のFと音がぶつかっているので、負けずにしっかり歌いましょう。

145小節からの部分のLobeとGnadeの語尾は曖昧に。

267小節からの各パートのtroestのO-ウムラウトが、日本語のエになり過ぎないように。

Todesnotのdesは語尾なので曖昧に。Todesとnotのoは長母音です。

3.Versus

394小節からの各パートの最初の二つの音（アルト・バス・第1ソプラノはミファ、テノール・第2ソプラノはシド）は、音の幅が狭くならないように。

413小節からの部分のJesuのuの母音に注意。

erhoereのerは口が開き過ぎないように。O-ウムラウトにも注意。

ewiglichのgのあとに母音が入らないように注意。

来週はシュッツを練習します。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 名阪 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西

欠席：1名(バス)

備考

発声個人レッスンの予定

8月3日・・・大庭(アルト)

10日・・・練習場所が変わるため、発声レッスンは行いません。

17日・・・中西(ソプラノ)

24日・・・辻村

2016年7月20日 (水)

練習箇所

Schuetz: Herr, auf dich traue ich, SWV377
 Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
 Buxtehude: Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。
 全体発声は35分。

内容

★Herr, auf dich traue ich

1度通しました。

★Ich bin eine rufende Stimme

通した後、72ページのbの部分を実習しました。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

33ページの3.Versusから練習しました。

301小節のアルト・・・EngelienのEnからgeへの跳躍に注意。しっかりDの音に上がりましょう。geは鼻濁音です。

351小節のjuengstenの発音に注意。今は完全に「ユングステン」に聞こえます。U-ウムラウトはもう少し「イ」の要素を増やして下さい。

Tageの語尾は、はっきり「ゲ」と言わず、曖昧に。

379・380小節と392・393小節のGottes Sohn・・・Gottesのoは明るく、Sohnのoは暗く。

382小節のバスは、前の小節（前のページの最後の小節）で第1ヴァイオリンが同じ音型を弾いているので、簡単に入れるはずですが・・・。380小節を歌い終わったら早目にページをめくって次の出の準備をしましょう。

439小節から454小節までに何度も出て来るerhoereのO-ウムラウトは、もう少し「オ」の要素を増やして「へ」にならないようにしましょう（特に男声）。

2.Versus(6ページ)

最初のEs ist jaの3つの8分音符が全部同じにならないように抑揚を付けましょう。

70小節のバスの16分音符の音型を正確に。schenkの最後の子音もちゃんと入れましょう。

14ページのVivaceから

brauchのchをしっかり入れましょう。

zumのuが浅くならないように。mもしっかり発音しましょう。

Lobeのoは長母音。暗く。語尾のbeは曖昧に。日本語の「べ」にならないように。

NaechstenのA-ウムラウトは、もう少し口を開けて明るく発音しましょう。間のchsをしっかり入れましょう。最後のtenは語尾なので曖昧に。

177小節からのテノールは、いつもここでテンポが遅れるので要注意！ meinを短めにして、素早くプレスをして次に入りましょう。

182小節のバスのF#はもう少し高く。

184～200小節に何度も出て来るbehuetのU-ウムラウトは、日本語の「ヒュー」にならないように（特にバス）。

186・188・189小節のバスのbehuetの3つ並んだ8分音符は、全部同じ長さではなく真ん中のhuetを長目に。

267～293小節に何度も出て来るtroestのO-ウムラウトは、日本語の「エ」になり過ぎないように。もう少し「オ」の要素を入れましょう。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村 (椎野)
欠席：1名(アルト)

備考

発声個人レッスンの予定
7月27日・・・大庭(テノール)
8月3日・・・大庭(アルト)

久しぶりに見学の方が来られました！！バスの方で、発声練習から最後まで練習に参加して下さいました。来週は用事で来れないそうですが、またいらして下さいます。

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年7月13日 (水)

練習箇所

Schuetz: Es ist erschienen, SWV371
Buxtehude: Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。
全体発声は26分。

内容

★Es ist erschienen
通しました。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr
1. Versus
通しました。

2.Versus

少しずつ区切りながら練習しました。

70小節のバスは、16分音符を正確に歌いましょう。最初のレミファミが、レミファレになりがちです。

75小節のテノールは、2拍目の付点8分音符を短めにすると、次に入りやすいでしょう。

92小節からの部分で、Seel、Lebenの長母音がイになり過ぎないように(特に男声)。

Leibのbをしっかりと破裂させましょう。

143小節の1拍目のハーモニーをきれいに。バスはF#に注意。

145小節からVivaceになっていますが、16分音符がたくさん出て来るので、特別早くしません。最初に出るテノールは指揮を良く見て出ましょう。

zuの母音に注意(特にテノール)。

166小節のバスは1拍目裏のF#に注意。

177・178小節のテノールは細かい音が続くのでテンポが崩れがちですが、一緒に歌っているアルトとバスも、先に行ってしまう前にテノールを気にしながら歌いましょう。テノールは、177小節のmeinを歌ったあと、素早くブレスしましょう。

182小節1拍目のバスのF#を高めに。

184小節からの部分で、バスはbehuetのU-ウムラウトが日本語のヒュウにならないように。舌は引っ込めずに前に出しましょう。Herrの母音は明るく。F#は高めに。

30ページ最後の小節を歌った後、テノールはページをめくってすぐの279小節が間違えやすいので注意。troestのO-ウムラウトがエになり過ぎないように。

294小節のテノールは難しい音型ですが、正確に歌いましょう。

3.Versus

301小節のEngeleinのgeは鼻濁音です。

439小節からの部分のerhoereのO-ウムラウトに注意。日本語の「へ」にならないように。

最後の479小節からのAmenは、時間がなくて歌えませんでした。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

7月20日・・・柿沼

7月27日・・・大庭()

8月3日・・・大庭()

♪ コンサートのお知らせ

7月18日(月・祝)は、水野先生が指揮をされる東京クリスマス・オラトリオ・アカデミーの演奏会です。アマデウスからは中西さん、平石さん、大久保さん、堀江さんが参加しています。時間・場所・出演者などの詳細は、6月29日の練習日誌をご覧ください。

 [冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年7月6日 (水)

練習箇所

Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

Shuetz: Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは小沢さんでした。

全体発声は32分。

内容

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

4～6月は一度も歌っていませんでした！

少しずつ区切って練習しながら、最後まで歌いました。

1. Strophe

17小節のwahr'、18小節のwahrerの最初の子音wを拍の前に出しましょう。wahrerの語尾は曖昧に。

28小節のNamenのmenはアクセントが付かないように。

30小節のzuのzを拍の前に出しましょう。

2. Strophe

46小節のdenn duのあと、言い直して次のdrumに入りましょう。

51小節のbittのiは横にひきすぎないように。

54小節のunsのuは音価いっぱい長く。

3. Strophe

60小節のGedenkeはdeを一番強く。keはアクセントが付かないように。

66小節のhilfのhに注意。力が入り過ぎてchにならないように。

67小節のgnaedigのnaeは口を開けて明るく。

73・75小節のLassのlを飛ばして。

81小節のFriedは音価いっぱい延ばさず、語尾を早目に言って次のnochをしっかりと歌いましょう。次のlaengerの語尾は曖昧に。gは鼻濁音です。

99小節の1拍目裏のバスはフラットが付きそうになるので注意。

105小節からのAmenは、四分音符を全部同じように歌わずに二つ単位で。

107小節のバスはテノールから音を取ると入りやすいでしょう。

153・154小節の第1ソプラノの長い音は膨らませましょう。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

この曲も同じく久し振りでした。

1. Versus・・・通しました。

2. Versus

バスの98小節3拍目裏の音に注意！

14頁Vivaceからのところで、damitと次のich'sはつなげずにわけて歌いましょう。

Lobeの語尾は曖昧に。beは延ばし過ぎないように。

177～179小節のテノールはリズムに注意。急に音符が細かくなりますが、3拍子である事を考えながら歌いましょう。

3. Versus・・・通しました。

★Ich bin eine rufende Stimme

通しました。

★Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns

通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 大庭

バス：柿沼 山村
欠席：2人(テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
7月13日・・・堀江
20日・・・柿沼

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年6月29日（水）

練習箇所

H. Schuetz:

Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。
全体発声は24分。

内容

★Es ist erschienen 最初は遅めのテンポで、2回目はテンポを速めて歌いました。

★Herr, auf dich traue ich

1度遅めのテンポで通した後、最後のページ上段最後の小節のアルトとテノールの練習をしました。3拍目の強拍(アルトはG、テノールはE)の音を決めましょう。

その前のkとlの部分も歌ってから、少しテンポを速めて最初から通しました。

★Ich bin eine rufende Stimme

最初、遅いテンポで歌い始めましたが、2ページ目に入ったあたりからずれて来て、最初から歌い直しました。テンポ感がパートによって合っていなかったようです！

少人数なので、指揮者が居なくても他のパートを聞きながら歌えるようにしましょう。

2頁目の全音符や2分音符が続くあたりは、自分の相手と思われるパートの動向を見ながら、合図を送り合ってアンサンブル出来るようにしましょう。最初の部分も同じように。

2回歌ってから、区切って練習。73ページのdから最後まで歌ってから、72ページのbとcの部分を2回練習。

特にbの部分は、第2テノールの場合、2段目5小節3拍目のD、次の小節1拍目のF#、3拍目のA(D→F#→A)、そして3段目1拍目のE、3拍目のG、2小節目1拍目のH(E→G→H)の音を2分音符で歌う練習をしました。バスは2段目最後の小節3拍目のA、3段目最初の小節1拍目のC#、3拍目のE、そして2小節目1拍目のH、3拍目のD、3小節目のF#。第1テノールは2段目最後の小節1拍目のA、3拍目のC#、3段目最初の小節1拍目のE。

その2分音符で練習した音をしっかりと歌うとハーモニーがはっきりしてわかりやすくなるそうです。その形で何度も練習しました。

最後に少しテンポを速めてもう1度最初から通しました。

★Ein Kind ist uns geboren

遅いテンポで1度通してからbの部分を実習。 そのあと g の途中まで歌ってからeの第2テノールを実習。 cからfまで歌ってから、fの部分を取り出して練習。第2テノールのF#が鍵を握っているのて、高めに取らましよう。そこから最後まで歌いました。

★Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns

2度通しました。

★残りの時間で、遡って最初の曲まで全部歌いました。

来週からは久し振りにBuxtehudeも練習するとの事ですので、思い出しておいて下さい。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西

アルト：大久保 堀江

テノール：小沢 翁長

バス：柿沼 中西 山村

欠席：4人(ソプラノ1名、アルト2名、テノール1名)

ソプラノの繁松さんは暫く欠席されていましたが、来月からは休団になります。

備考

演奏会のお知らせ

水野先生が指揮される合唱団の演奏会3件

1. 渋谷混声合唱団

7月2日(土) 14時開演 東京オペラシティコンサートホール

ブラームス： ドイツ・レクイエム

ソプラノ： 佐竹由美

バリトン： 浦野智行

オーケストラ： シンフォニア・フォンス・アルモニエ

2. 東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー

7月18日(月・祝) 14時開演 東京オペラシティコンサートホール

J. S. バッハ： ミサ曲口短調

ソプラノ： 星川美保子

メゾソプラノ： 中島郁子

アルト： 谷地敵晶子

テノール： 望月哲也

バス： 青山 貴

オルガン： 平野智美

管弦楽：東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー・アンサンブル

3. 三菱東京UFJ銀行合唱団

10月10日(月・祝) 14時開演 東京オペラシティコンサートホール

ヘンデル： メサイア

ソプラノ： 星川美保子

アルト： 谷地敵晶子

テノール： 辻 裕久

バス： 青山 貴

2016年6月22日（水）

練習箇所

H. Schuetz:

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Es ist erschienen, SWV371

記事

発声個人レッスンは辻村でした。

全体発声は25分。

内容

★Das Wort ward Fleisch 85ページ下段3小節目のunsはフレーズの終わりなので、全音符を歌っている間に decresc.します。

91ページのoの部分のハーモニーを良く感じましょう。特に下段の、女声は3小節目、男声は5小節目）。

★Ein Kind ist uns geboren

通してから男声の練習。bから。

fの2小節目下2声の和音に注意。第2テノールは2拍目裏F#の音を明るく。和音の第3音は高めにするときれいです。

★Ich bin eine rufende Stimme

2回通しました。

最初のフレーズIch bin eine rufende Stimmeを流れるように歌いましょう。

rufendeは一つの単語です。三つに切れないように。

★Herr, auf dich traue ich

zugesagetの4つの8分音符は一つ一つ歌わず、長短長短に。zuとsaをテヌート気味に歌いましょう。

★Es ist erschienen

12ページ2小節目の和音を、もう少しきれいにハモらせましょう。

小節内でdecresc.します。バス以外の上4声は、アルトのブレスのタイミングに合わせて切ります。

5曲練習した後、残りの時間でSWV385・384・383をもう一度通しました。

SWV383はテンポを速くして歌いましたが、付点の部分はやはり男声がテンポについて行けていませんでした・・・！

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：翁長 大庭

バス：柿沼 中西
欠席：3人(ソプラノ・テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
6月29日・・・大久保
7月6日以降未定

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年6月15日（水）

練習箇所

H.Schuetz:

Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。
全体発声は30分。

内容

★Es ist erschienen, SWV371

通して歌った後、細かい練習をしました。

12ページ1段目のWeltはおさめる感じで。ハーモニーも気をつける。

9ページ1段目2小節目アルト：ラは上から入るように。

〃 4小節目アルト：ド#は声帯が緩まないように。「Gnade」は滑らかに。そして楽器を中に落とさないように。

10ページ3段目2小節目2拍目ミソシの和音を意識する。

11ページ1段目2小節目テナー：少しおさめ気味にする。

〃 2段目1小節目バス：ファ#が下がらないようにテンションがかかったままで。

〃 3段目4小節目テナー：ラをアルトとオクターブで合わせる。

12ページ2段目4小節目アルト：上ずらないように。ベースのシ→ラの音の中で動く。

〃 3段目2小節目1拍目のハーモニーを何回か練習。

自分のパートを横に眺めていくのと同時に、瞬間瞬間に作られていく和音を感じながら歌えるように。

★Herr, auf dich traue ich, SWV377

通して歌った後、細かい練習をしました。

41ページ1段目2-4小節目テノール：声を揃える練習をしました。

〃 3段目の最後の小節：ハーモニーがきれいになるように。

42ページ3段目テノール：裏声を多めに。声を太らせないように。

43ページ1段目1小節目バス：張りのある裏声で入る。

〃 2段目1小節目1拍目、2小節目1拍目のハーモニーを合わせる。バスはピッチが下がらないように。（「あ」

「お」など広い母音で声帯が緩まないように)

★Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

通して歌った後、72ページ2段目4小節目からの付点のリズムがもう少ししなやかになるように練習しました。

★Ein Kind ist uns geboren, SWV384

1回通して歌いました。

★Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

1回通して歌いました。

意識を楽譜の中ではなく、楽譜の外の合唱団に向けて歌うように。

出席者

ソプラノ：名阪 中西

アルト：大友 大庭 堀江

テノール：翁長 大庭 小沢

バス：柿沼 中西 山村

欠席：4人(ソプラノ3名・アルト1名)

備考

発声個人レッスンの予定

6月22日・・・辻村

6月29日・・・大久保

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年6月8日 (水)

練習箇所

H.Schuetz:

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Es ist erschienen, SWV371

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。

全体発声は33分。

内容

今日もシュッツを、最初は最後から各曲を2回ずつ、休憩後は最初から順番に2~3回ずつ、ひたすら通しました！

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西

アルト：大友 大庭 堀江

テノール：翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：4人(ソプラノ2名・アルト1名・テノール1名)

備考

発声個人レッスンの予定
6月15日・・・大庭(アルト)
6月22日・・・辻村
6月29日・・・大久保

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年6月1日 (水)

練習箇所

H. Schuetz:
Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。
全体発声は15分+曲の練習に入ってから、1曲目のあと全員揃った頃に再度13分程行いました。

内容

★Es ist erschienen

sollenは、カタカナで書くとしたら「ゾレン」です。「ゾーレン」に聞こえないようにしましょう。oを暗めに発音してしまうと長母音に聞こえてしまうので注意。

11ページ3段目のfのドミソの和音がきれいに決まるように。バスは低くなりがちなので、第1ソプラノと合わせましょう。

★Herr, auf dich traue ich

2度通しました。

★Ich bin eine rufende Stimme

1度通してから、75・76ページを練習しました。76ページ2段目最後の小節から3段目のアルトはG#→A#→Hの音程に注意！

Schuhriemenのuは浅くならないように。aufloeseのO-ウムラウトの発音にも注意。

★Ein Kind ist uns geboren

男声は最初のEin Kindのあと、次のistに入る前に隙間を入れましょう。つながってしまうとKintistのように聞こえてしまいます。

Welchesの最初の子音を前に出しましょう。Wunderbarも同様に。

Wunderbarの歌い方は、カタカナで書くとヴンダバーです。ヴンダバーにならないように。

keinのkを前に出しましょう！

★Das Wort ward Fleisch

一度通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2人(ソプラノ・アルト各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

6月8日・・・大庭(テノール)

15日・・・大庭(アルト)

22日・・・辻村

29日・・・大久保

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年5月25日（水）

練習箇所

H. Schuetz:

Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。

全体発声は41分。

内容

★Es ist erschienen

1度通してから、13ページ2段目のkからの部分を練習。

特に2段目最後から2小節目の3拍目のファラドの和音をきれいに歌いましょう。

曲の終わりの方に出て来るzuの発音に注意！

先生からの指摘はありませんでしたが、Werkenの発音を勘違いしている人がいるのが気になります…。このeは短母音です！ 長母音ではありません！！

次のSWV377に出て来るwerdenと似ていますが、発音は同じではありません。

werdenは長母音ですが、Werkenは短母音です！！

★Herr, auf dich traue ich

1度通してから、41ページ最後の小節からの3小節を練習しました。

41ページ最後のアルトとバスのFの音が良く合うように。

最後に、もう1度全曲を通しました。

★Ich bin eine rufende Stimme

1度通してから、75ページ2段目最後の小節から3段目最後まで第1・第2テノールの練習をしました。

wertのeは長母音です。

72ページ2段目からの付点音符の部分はだいぶ正確になってきたので、今までよりも滑らかに歌う事になりました。

★Ein Kind ist uns geboren

1度通してから、bからの部分を練習しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

6月1日・・・堀江
6月8日・・・大庭(テノール)
6月15日・・・大庭(アルト)
6月22日・・・辻村
6月29日・・・大久保

演奏会のお知らせ

6月25日(土) JCON 2016

(三菱マテリアル、丸の内グリークラブ、エンジェルス・コアのジョイントコンサート)

北とぴあ つつじホール

千原英喜：女声合唱とピアノのための組曲「南の絵本」
遠藤謙二郎編曲：男声合唱組曲「ジブリの森から」より
千原英喜：混声合唱とピアノのための組曲「ある真夜中に」
高田三郎：「水のいのち」より「雨」

他

平石さんが出演します。

7月2日(土) 渋谷混声合唱団第22回定期演奏会

東京オペラシテイコンサートホール 午後2時開演

ブラームス：ドイツ・レクイエム

指揮：水野克彦

ソプラノ：佐竹由美

バリトン：浦野智行

オーケストラ：シンフォニア・フォンス・アルモニエ

柿沼さんと山村さんが出演します。

7月18日(月・祝) 東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー演奏会

東京オペラシテイコンサートホール 午後2時開演

J. S. バッハ：ミサ曲口短調

指揮：水野克彦

ソプラノ：星川美保子

メゾソプラノ：中島郁子

アルト：谷地敏晶子

テノール：望月哲也

バス： 青山 貴
管弦楽： 東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー
中西さん、平石さん、大久保さん、堀江さんが出演します。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2016年5月18日（水）

練習箇所

H. Schuetz:

Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは小沢さんでした。
全体発声は37分。

内容

最初にシュッツを5曲、順番に通したあと休憩。

休憩後は、全員揃ったところで発声を13分程行ってから、シュッツ2曲を練習しました。

★Das Wort ward Fleisch

6小節目のFleischの語尾を言い切ってから、次のundに入りますが、そのundの入りのタイミングを3パートで合わせましょう。undは短めに。

unterの語尾は曖昧に。日本語の「ター」にならないように。

85ページ2段目の3小節目はフレーズの終わりなので、クレッシェンドせずにおさめます。

sahenの語尾は曖昧に。「エン」とはっきり言い直さず、「ザー」と言った口を閉じる時に軽く発音しましょう。

Herrlichkeitの語尾のkeitにアクセントが付かないように。

Gnade und Wahrheitのフレーズで、Gnadeのdeは短く。次のundとつなげないように。

★Ein Kind ist uns geboren

最初のページ上段最後の男声3パートは、Kindとistをリエゾンしないで下さい。

und er heisstのundは短く言い切って下さい。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：ソプラノ1名

備考

発声個人レッスンの予定

5月25日・・・柿沼
6月1日・・・堀江
6月8日・・・大庭(テノール)
6月15日・・・大庭(アルト)
6月22日・・・辻村
6月29日・・・大久保

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年5月11日 (水)

練習箇所

H. Schuetz:

Es ist erschienen, SWV371
Ich bin eine rufende Stimme, SWV383
Ein Kind ist uns geboren, SWV384
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは、水野先生のご都合で中止になりました。
体調を崩されて声が出にくい状態の中、全体練習は予定通り指導して下さいました。
全体発声は小沢さんの音頭により、13分ほど行いました。

★Es ist erschienen

2度通してから部分練習しました。11ページの部分のバスの入りの音を正確に。第1ソプラノと同じ音です。
その3小節あとの3拍目のバスは第2ソプラノと同じ音です。
12ページ2段目の3小節目のバスの最後の音はCisです。＃を忘れないように。

Erscheinungの最初のerを狭くしないで下さい。このerは前綴りのerで、長母音になる事はありません！
erschienenのerと同じです。

3段目hの前のkeitは語尾なので押さないように。

13ページのkの部分の入りのder sichは、しっかり入りましょう。二つの単語をつなげずに、一つ一つをテヌート気味にはっきりうたいましょう。derのrは巻かないで下さい。

★Ich bin eine rufende Stimme

1度通してから部分練習をして、最後にまた通しました。

★Ein Kind ist uns geboren

1度通しました。

★Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns

1度通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 平石

アルト：大久保 大友 堀江
テノール：小沢 大庭 翁長
バス：柿沼 中西 山村
欠席：3人(ソプラノ2名・アルト1名)

備考

発声個人レッスンの予定
5月18日・・・小沢

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年5月4日（水・祝）

練習箇所

6声の曲を練習しました。

H. Schuetz:

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

記事

今日は祭日のため、午後3時から8時までの練習でした。

3時～4時・・・発声個人レッスン。前半は中西さん(バス)、後半は名阪さん。

4時～5時・・・男声のみの練習

5時半～8時・・・全員

水野先生には長時間お世話になりました！

内容

★Das Wort ward Fleisch

全体に、和音がきれいに充実して響くように歌いましょう。

Gnadeの語尾のdeが4分音符で、次にundが続く箇所は、短く。

★Ein Kind ist uns geboren

和音を感じながら歌いましょう。

80ページのwelchesのchがもっと聞こえるように。

81～82ページのund er heisstは、und とerの間を離しましょう。

82ページのkeinは、kを前に出して発音しましょう。

★Ich bin eine rufende Stimme

72・73ページの付点のリズムを正確に！

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村
欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定
5月11日・・・小沢
18日・・・未定
25日・・・未定

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年4月27日（水）

練習箇所

H. Schuetz:
Es ist erschienen, SWV371
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは辻村でした。
全体発声は24分。

★Es ist erschienen

バスは13ページ上の段3小節目最後のAから次のFへの移動に注意。下り過ぎないように。2段目2小節目最後のAから次のCへ行く時に、ずり上げないように。4小節目のEからFへの移動は、上がり切らない事が多いので高めに。ファラドの和音がきれいに決まるように意識しましょう。

waereのA-ウムラウトの発音に注意。長母音のeのように狭くならないように。口は「ア」と言う時のように開いたままで。

全体に縦の線のハーモニーを意識して歌いましょう。

★Das Wort ward Fleisch

最初のページ、bの入りを明確に。uの発音を揃えましょう。5度の響きがきれいになるようにしましょう。undよりもwohnetの方が重要なので、undは軽く歌いましょう。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：2人(ソプラノ・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
5月4日
15時～15時半・・・中西(バス)

15時半～16時・・・名阪
5月11日以降未定

来週は祭日のため、午後3時からの練習です。

3時～4時・・・発声個人レッスン2名

4時～5時・・・男声の練習

5時～5時半・・・休憩

5時半～8時・・・全体練習

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年4月20日（水）

練習箇所

H. Schuetz:

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。

全体発声は35分。

★Ich bin eine rufende Stimme

72ページ2段目1小節目の第2テノール、2小節目の第1テノール、4小節目の第2テノールのGの音は、一番下の支えになる音です。音がぶらさがらないように。

次のbからの付点のリズムに注意。特に付点4分音符+16分音符二つのリズムを正確に。付点4分音符のあと、少し抜いて次の16分音符に入るようにしましょう。

74ページ2段目2小節目の3パートの和音を決めましょう。アルトはDの音に入る時にしっかり上から入りましょう。

77ページ1段目最後の小節の第2テノールとバスの3拍目の音が決まるようにしましょう。seineの言葉を発音する時に音が落ちやすいので注意。

Schuhriemenのuは浅くなりがちなので、思いっきり口をとがらせて発音しましょう。

aufloeseの最後のseが語尾である事を忘れないように。

★Es ist erschienen

★Herr, auf dich traue ich

★Ein Kind ist uns geboren

★Das Wort ward Fleisch

4曲続けて通しました。

来週はDas Wort ward Fleischを中心に練習します。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 山村 中西
欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

4月27日・・・辻村

5月4日・・・

中西(バス) 15時、名阪15時30分

※ 5月4日は祭日のため、午後3時からの練習になります。

3時から4時まで発声個人レッスン2人、4時から男声パートの練習、5時から全員で練習を行い、8時終了予定です。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年4月13日 (水)

練習箇所

H. Schuetz: Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

記事

発声個人レッスンはお休み。

全体発声は30分。

内容

最初に通してから部分練習。

それぞれのパートの出だしから二番目の音が決まるように気を付けましょう。第1・第2ソプラノ、第1・第2テノールは最初のH→C、アルトとバスはE→Gの音程に注意。

次の二つの音の音程にも注意。第1・第2ソプラノ、第1・第2テノールはH→E、アルトとバスはFis→H。下の段後半の第1・第2テノールのA→Cの音程も注意。

Ichの子音chをしっかり飛ばしてから次のbinに入るように。

rufendeのuの発音に注意！！

Stimmeの最初の子音Stは前に出しましょう。

Wuestenのsが「シュ」にならないように。

in der Wuestenは、in der | Wuestenにならないようにしましょう。切れ目を入れるとしたらin| der Wuestenです。

72ページ3段目最初のバスは未だに#が取れてCの音で歌ってしまう事が多いので直して下さい！！

75ページ2段目の後半welcher vor mir gewesen istは、言葉の抑揚通りに歌いましょう。welcherは最初のwelに、そしてmirと、gewesenのweに重さが来るようにします。

76ページ3段目最初の小節のバスのGの音が低くならないように注意。EGHの和音がきれいに決まるようにしましょう。

77ページ3段目3小節目で、同じ音を歌っているアルトと第2テノールのE、第1テノールとバスのCの音を良く合わせ

ましょう。

先週と今週の2回とも、この1曲を集中して細かく練習しました。この練習が無駄にならないよう、次にこの曲を歌う時までには忘れないようにしましょう！

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定
4月20日・・・大庭(アルト)
4月27日・・・辻村
5月4日・・・未定

※5月4日は祭日で、午後3時からの練習ですが、時間配分は未定です。最初は、希望者があれば発声個人レッスン、または男声のみの練習を行う可能性もあります。

※8月10日(水)・11日(木・祭)の練習場所は中野のspace415に決まりました。詳細は後日。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年4月6日 (水)

練習箇所

H.Schuetz: Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。
全体発声は44分。

内容
72ページのbの部分から練習しました。ヴォカリーゼ(ラララ)で、付点のリズムを正確に歌う練習。いつも頭の中でビートを感じながら歌いましょう。

バスは2段目最後の小節と3段目最初の小節の二つ連続した16分音符が曖昧になりがちです。73ページ3小節目と2段目最初の小節も同じです。

バスは2段目最後の小節から3小節目間のCisの音がCになってしまう事が多いので要注意です。移動ドで読むと、ト長調ではなくニ長調(口短調)で読むと歌いやすいと思います。
これは最初に音取りを始めた時から先生がアドヴァイスして下さっています！

bの部分の男声3重唱は、1拍目と3拍目の和音を意識して歌いましょう。

cの手前のHerrenのrenは語尾で、しかもフレーズの終わりなので、押さないようにしておとなしく終わらしましょう。

cの部分の最初、Richtetのtetの母音は曖昧に。den Wegのnをしっかり発音してから次のWに入りましょう。

曲の最初の方で何度も出て来るrufenのuの発音が浅い(人が何人か居ます)ので、直して下さい。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
2週連続で全員出席でした！

備考

発声個人レッスンの予定

4月13日・・・水野先生のご都合でお休み

4月20日・・・大庭(アルト)

4月27日・・・辻村

水野先生が4月2日に還暦を迎えられたのをお祝いして、アマデウスのメンバー15人全員からプレゼントを差し上げました。(素敵なカラーシャツを大久保さんと辻村の2人で選びました。)

練習後にはお祝いの会をスペランツァというイタリア料理のお店で行いました。水野先生とアマデウスの13人、計14人で楽しく盛り上がりました。

お店の予約からお祝いの会の司会進行、会計、皆さんへのメール連絡など、平石さんが全部引き受けて下さいました。お仕事でお忙しい中、ありがとうございました！

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年3月30日 (水)

練習箇所

全曲

D. Buxtehude:

Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

H. Schuetz:

Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。全体発声は29分。

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ
通しました。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

210小節まで通して歌ってから145小節に戻り、そこから先の部分練習をしました。

子音をはっきり発音しましょう。しかし、レガートさが無くならないように。

zum Lobe、zu Nutz等のuの発音が浅くなりがちなので、気を付けましょう。

Lobeのoは長母音です。暗めに発音しましょう。

177・178小節のテノールは拍子が乱れがちなので、3拍子をきちんと数えて歌いましょう。

troestのO-ウムラウトは「エ」に近付き過ぎないように。

334～353小節は、言葉もruhnと歌っているように、基本的にピアノです。

★シュッツは5曲を順番に通しました。来週はシュッツを中心に練習します。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

久しぶりに全員出席。昨年11月3日の演奏会以来初めてでした！

備考

発声個人レッスンの予定

4月6日・・・大久保

4月13日・・・先生のご都合で、個人レッスンはお休みです。

4月20日・・・未定

4月27日・・・未定

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年3月23日（水）

練習箇所

H.Schuetz:

Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

D.Buxtehude:

Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

記事

発声個人レッスンは中西さん(ソプラノ)でした。
全体発声は30分。

シュッツは5曲通しました。

★Es ist erschienen

14ページのUngerechtigkeitのgeが鼻濁音になっている人がいます。Unとgerechtigkeitは二つの単語がつながって出来ているので、gerechtigkeitの頭が鼻濁音になる事は有りません！

★Das Wort ward Fleisch

eingebornenのgeも鼻濁音にならないように注意しましょう。この単語はeinとgeborenから出来ています。

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

一度通してから細かく区切って練習しました。

フレーズの最後の和音がきれいに決まらない事が多いので注意しましょう。

第1節

Nothelferは、前にも先生から指摘がありましたが、Notと次のhelも強く歌いましょう。

imのmをしっかり発音しましょう。

Namenは長い音を伸ばしている間、少し膨らませましょう。

schreienは頭の子音を前に出して下さい。

第2節

Kriegの頭の子音を前に出して鋭く発音しましょう。

UngemachのUの母音が浅くならないように。gemachのgeが鼻濁音にならないように。

helfenのheは開いた母音です。狭くしないように。

fuehrの最初のfを前に出しましょう。ウムラウトもきつめに発音しましょう。

bittのttをしっかり飛ばしましょう。

er とjaはつなげないように。

第3節

Gedenkeの最後のkeが強くなるように。

anとdeinのnをしっかり発音しましょう。

LassのLはもっと破裂させて下さい。hinfortのfoは明るく。

laengerのgerは語尾なので軽く。laenは早くnに行ってしまうと、「レン」よりも「レーン」のように歌いましょう。schallenのsは前に出しましょう。

111小節と127小節の1拍目のmenは語尾ですが、しっかり響かせて歌いましょう。特に127小節の第1ソプラノは、第2ソプラノが4分音符二つを歌い終わるまでしっかり保って歌いましょう。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

最初から通して478小節まで歌って時間切れになりました。

226~227小節の発音が、tragとgedueltiglichの最初のgeがつながってトゥラーゲに聞こえます。tragの最後の子音gをしっかり発音してから、次の言葉を言いましょう。

カタカナで書くと、トゥラーク ゲデュルティックリッヒです。U-ウムラウトが取れてしまっている人もいますので付けて下さい！

※水野先生が書かれた発声練習に関する冊子を配布しました。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：3人(ソプラノ2名、アルト1名)

備考

発声個人レッスンの予定

3月30日・・・柿沼

♪演奏会のお知らせ

東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー

2016年7月18日(月・祝) 午後2時開演 東京オペラシティコンサートホール

J.S.Bach: ミサ曲口短調

指揮： 水野克彦

ソプラノ： 星川美保子

メゾソプラノ： 中島郁子

アルト： 谷地敏晶子

テノール： 望月哲也

バス： 青山 貴

オルガン： 平野智美

管弦楽： 東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー・アンサンブル

アマデウスからはソプラノの中西さん・平石さん、アルトの大久保さん・堀江さんが出演します。指揮は水野先生です

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年3月16日 (水)

練習箇所

H.Schuetz:

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。

全体発声は37分。

★Das Wort ward Fleisch

86ページのdの部分und wohnt unterの5つの四分音符をund、woh、net、un、terのように一つずつ歌わないように。wohnetのnetとunterのterは語尾なのでアクセントが付かないように気を付けましょう。

herrlichkeitのkeitは語尾なので、アクセントが付かないようにおさめましょう。

88ページ下段から89ページ上段、91ページ下段から92ページ上段に出て来るGnade und WahrheitのundからWahrheitに行く時に突っ込まないように。

先生からの指摘はありませんでしたが、eingebornenのgeが鼻濁音になっている人が何人か居るので気を付けましょう！ この単語はeinとgeborenが合わさった物です！！

★Ich bin eine rufende Stimme

先週の続きで、72ページ2段目のbから練習しました。

付点音符を正確に歌いましょう。付点四分音符+16分音符二つが、複付点四分音符+32分音符二つにならないように注意。

Wegのeは長母音なので、少しだけイに近付けて下さい。歌い始めは長母音にしても、長い音を延ばしている間に普通の日本語のエになってしまいがちです。

75ページ最後のアルトから各パートに出て来るタタタン・タタタンというリズムが崩れないように正確に歌いましょう。

★Ein Kind ist uns geboren

今日は時間の関係で、あまり細かい練習は出来ませんでした。

来週は久し振りにブクステフーデを中心に練習します。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 堀江

テノール：小沢 翁長

バス：中西

欠席：6人(ソプラノ・テノール各1名、アルト・バス各2名)

備考

発声個人レッスンの予定

3月23日・・・中西(ソプラノ)

3月30日・・・柿沼

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年3月9日 (水)

練習箇所

H. Schuetz:

Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

記事

発声個人レッスンは辻村でした。

全体発声は32分。

★Es ist erschienen

11ページ3段目の最初はホ短調で終わり、2拍目からはハ長調になるので、つなげて歌わずに隙間を入れて下さい。

★Herr, auf dich traue ich

nimmermehrは、nim mer mehrのようにシラブルごとに分けて歌わず、一つの言葉に聞こえるように歌いましょう。

う。

★Ich bin eine rufende Stimme

最初に通して歌ってから、他の曲と同じように細かく練習しましたが、73ページのdの前で時間切れになってしまいました。来週はこの続きから練習します。

Ich bin eine rufende Stimmeという文の中で、最も大事に歌うべき言葉はrufendeです。最初のIch binはあまり強調せずに軽く歌いましょう。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：3人(ソプラノ1名、アルト1名、バス1名)

備考

発声個人レッスンの予定
3月16日・・・堀江
23日・・・中西(ソプラノ)
30日・・・柿沼

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年3月2日 (水)

練習箇所

H.Schuetz:
Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385
Ein Kind ist uns geboren, SWV384

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。全体発声は34分。

★Das Wort ward Fleisch

長い音を歌っている時はメッサ・デイ・ヴォーチェにしましょう。

Fleischの最初の子音を前に出して発音しましょう。Fのあとに母音が入らないように。unterの語尾を曖昧に。88ページ下の段最初のドミソの和音と、次の小節のソシレの和音をきれいに。.

★Ein Kind ist uns geboren

Wunderbarは、母音のuを長目に。Wunderbar Rat Kraft Heldのようにつなげて歌わず、楽譜通りWunderbar, Rat, Kraft, Heldと、コンマを活かして下さい。

Ewigkeitのkeitは語尾なので大き過ぎないように、おさめて下さい。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：3人(ソプラノ2名、バス1名)

備考

発声個人レッスンの予定

3月9日・・・辻村

3月16日・・・堀江

3月23日・・・中西(ソプラノ)

3月30日・・・柿沼

♪ 演奏会のお知らせ

合唱団さきたま定期演奏会

3月12日(土) 午後2時 ウェスタ川越大ホール

デュリュフレ： レクイエム

グノー： 聖チェチーリア荘厳ミサ曲

指揮： 岡本俊久

メゾソプラノ：小泉詠子

テノール： 古橋郷平

バス： 中瀬日佐男

オルガン： 大竹くみ

合唱： 合唱団さきたま

小沢さんが合唱で出演します。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2016年2月24日 (水)

練習箇所

D. Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20

H. Schuetz: Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。

全体発声は32分。

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ 今日は発音を中心とした細かい注意がありました。

1. Strophe 最初のDuのあとは少し隙間を開けます。FriedefuerstのU-ウムラウトは、もっとイの要素を多くしましょう。今はウに近いので。Herrのeは明るいエです。Christは内切りにします。Menschのあとは隙間を開けます。

wahrerの語尾は曖昧に。

einのnをしっかり発音しましょう。starkerの語尾は曖昧に。NothelferはNotとHelferをつなげた言葉なので、

helferのheにも軽いアクセントを付けます。Notのoは長母音なので暗く。duははっきり発音します。bistは内切りに

します。imのmをしっかり発音しましょう。Todは内切りにします。alleinとimはつなげないように。zuのuに注意。Vaterの語尾は曖昧に。

2. Strophe

unsのsもstoessetの最初のsも、どちらもしっかり発音しましょう。stoessetのO-ウムラウトを正確に。KriegのKをしっかり前に出して発音しましょう。先生からの指摘はありませんでしたが、Ungemachのgeが鼻濁音になっていたのが気になりました！ helfenのheは明るく。dennの前にnを入れないように。

3. Strophe

jetztははっきり発音しましょう。

★Es ist erschienen

2回通しました。

★Herr auf dich traue ich

2回通しました。

★Ich bin eine rufende Stimme

1回通したあと、付点音符が連続して出て来るb~dの部分を練習しました。あまりはね過ぎないでもう少し滑らかに歌うと良いと思います。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：2人(ソプラノ・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
3月2日・・・大庭(テノール)
9日・・・辻村

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年2月17日 (水)

練習箇所

D.Buxtehude: Herzlich lieb hab ich dich, o Herr BuxWV41
Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ BuxWV20

H.Schuetz: Es ist erschienen, SWV371

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。
全体発声は36分。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr 最初に145小節から最後までを通したあと、413～478小節を抜き出して練習。

そして359小節以降を歌い、特にバスの413～446小節を練習。

次に67～144小節を歌ってから、79～144小節を練習。

最後に、久し振りに1.Versusを歌い、そのまま最後まで全曲通しました。

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

最初に全曲を通してから、73～最後までを2回歌いました。

★Es ist erschienen

最初に全曲を通してから、部分練習をしました。バスの11ページ3段目のCの音が低めに入っしまいがちなので注意しましょう。12ページ2段目のバスの二つ目のCisの音に注意。＃が取れてしまいがちです。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2人(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

2月24日・・・大庭(テノール)

3月2日・・・大庭(アルト)

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年2月10日 (水)

練習箇所

H. Schuetz:

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Ein Kind ist uns geboren, SWV384

D. Buxtehude:

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, BuxWV41

記事

発声個人レッスンは無し。

全体発声は32分。

★Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns

2回通しました。

休止符の前の子音は中に入れて下さい。

★Ich bin eine rufende Stimme

2回通しました。

★Ein Kind ist uns geboren

2013年の定演で歌った曲ですが、忘れていた人が多いので、最初に言葉を読んでから2回通しました。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

最初に184~227小節を練習後、その前の145~183小節も練習しました。

最後に359小節から最後まで通しました。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 堀江

テノール：翁長

バス：柿沼 中西 山村

欠席：3人(アルト1・テノール2名)

備考

発声個人レッスンの予定

2月17日・・・辻村

2月24日・・・大庭()

3月2日・・・大庭()

冒頭へ

月初の練習日に移動

2016年2月3日 (水)

練習箇所

H. Schuetz:

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

記事

発声個人レッスンは小沢さんでした。

全体発声は34分。

★Ich bin eine rufende Stimme

72・73ページの付点音符は、鋭過ぎて複付点音符のようにならないように。

73ページ2段目の第1ソプラノと男声3パートの3拍目のWegの母音を長目に。

taufedeのtをしっかり前に出して発音しましょう。

75ページ1段目のden ihr nicht kennetの後のコンマをピリオドに変更して下さい。

次のderのdは大文字に、それに続くist'sのあとにコンマを入れて下さい。

(水野先生から配布された訳の通りです。)

そのDer ist's, der nach mit kommen wirdのDerは指示代名詞なので、長母音ではっきりと、その先のderは関係代名詞なので、長母音にしないで軽く発音して下さい。

次のwelcherははっきりと。

75ページ最後から出て来るwertは長母音です。

★Das Wort ward Fleisch

wohnetの最初の母音は長目に。

88ページ3小節目のアルトと90ページ2小節目の第1ソプラノのals desは、音が跳躍しているのでdesをしっかり歌いましょう。

次のeingebornenのgeが鼻濁音になっている人が目立ちます。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 堀江

テノール：小沢 翁長

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2人(アルト・テノール各1名)

備考

水野先生からシュッツのSWV383・385の訳が配布されました。

発声個人レッスンの予定

2月10日・・・大久保

2月17日・・・辻村

2月24日・・・大庭()

3月2日・・・大庭()

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年1月27日 (水)

練習箇所

H. Schuetz:

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。

全体発声は30分。

★Ich bin eine rufende Stimme

先週からの復習。何度も繰り返し練習しました。

★Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns

昨年最後の練習で、ヴォカリーゼで1度歌っただけなので、今日は2回目でした。

ヴォカリーゼで練習後、言葉を読み、そのあと言葉を付けて歌いました。

unterの発音は、「ウンテル」ではなく、「ウンター」にして下さい。Vaterも同じです。語尾の「タ～」はもちろん曖昧に発音します。vollerも同様に。

eingebornenのgeは鼻濁音にしないで下さい。この単語の切れ目はeinとgeborenenの間ein/geborenenです。einge/borenではないので注意！

91ページのo(オー)のvoller Gnadeの部分の小節線が抜けているので書き足しておいて下さい。(volの後とGnaの後。アルトはvolの前とlerの後。)

★Es ist erschienen

曲の最後の方のzu gutenの二つのuが浅くならないように。

★Herr, auf dich traue ich

erretteのerが長母音に聞こえる事があるので注意！

neigeのgeが鼻濁音にならないように。

42～44ページに出て来る連続した8分音符の言葉を滑らかに言えるように練習しましょう。

zugesagetの最初のgeが鼻濁音にならないように。この単語の切れ目はzuの後zu/gesagetです。

zuが浅くならないように。

☆水野先生がブクステフーデの楽譜の序文と歌詞を訳して下さいました。よく読んで参考にして下さい。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 大庭

バス：柿沼 中西

欠席：2人(テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

2月3日・・・小沢

2月10日・・・未定

2月17日・・・未定

2月24日・・・大庭()

3月2日・・・大庭()

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年1月20日 (水)

練習箇所

D. Buxtehude:

Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ BuxWV20

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr BuxWV41

H. Schuetz:

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。
全体発声は33分。

★Buxtehudeは、2曲通しました。

Herzlich lieb hab ich dich, o Herrの375小節の第1ソプラノは、他のパートと同じ全音符に書き直して下さい。

★SchuetzはIch bin eine rufende Stimmeを、何度かヴォカリーゼで練習してから言葉を付けて歌いました。

アルトは、72ページ7小節目のHが一番高い音を歌っているの、しっかり入って下さい。その3小節前に第2ソプラノが同じ音を歌っているの、音は取りやすいはずです。

バスは、72ページ2段目最後の小節と3段目最初の小節のDoの音に#を付けるのを忘れないように注意！ CではなくCisです！ 移動ドで、ドードド/ドーシラソーラソーラ/シードシードレードシ/ラーシラーシ・・・と読むと音が取りやすいです。部分練習をした時には出来ても、全パートで合わせた時にまた#が取れてしまっていました！！

74ページ2段目最初のアルトの歌詞(WasserのWas)が抜けているので書いておいて下さい。

※シュッツをもう1曲追加して、楽譜を配布しました。2013年に歌った曲なので思い出しておいて下さい。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：1名(アルト)

備考

発声個人レッスンの予定
1月27日・・・柿沼

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年1月13日（水）

練習箇所

Buxtehude:

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr BuxWV41

Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ BuxWV20

Schuetz:

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。
全体発声は37分。

★Buxtehudeの2曲は合唱譜が歌いにくいので、水野先生がピアノ伴奏譜を作って下さり、今日コピーを配布しました。その楽譜で一度通して歌いました。

★Schuetzは1曲だけ、Ich bin eine rufende Stimmeをヴォカリーゼで練習しました。

72ページ2段目最後からのバスの連続した4分音符は、他のパートと同じ付点にします。73ページ2段目も同様に。72ページ2段目最後の小節のバスは、1拍目裏のCの音に#を付けるのを忘れないように！ 3段目最初の音も同じです。CではなくCisです。73ページ2段目最初の小節も同じですが、その次の小節はナチュラルが付いているのでCです。正確にお願いします。

今日は時間が無くて言葉を付けられませんでした。一通り読みました。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：1名(アルト)

備考

発声個人レッスンの予定

1月20日・・・堀江

1月27日・・・柿沼

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年1月6日（水）

練習箇所

Buxtehude:

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr BuxWV41

Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ BuxWV20

Schuetz:

Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

記事

発声個人レッスンは辻村でした。

全体発声は26分。

内容

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

全曲歌いました。

2. Versus

70小節のバスは16分音符を正確に。二つのFの音が上がり切らない事が多いので注意しましょう。Geschenkの最後のkと次

のundがつながらないように。

98小節のバスの四分音符の音の動きに注意。4番目と6番目のGが上がり切らない事が多いです。wasの母音を延ばして

る間に、99小節最後のichの前にsを入れ忘れないように。

160小節のテノールは、1拍目と2拍目の拍の頭をしっかりと歌いましょう。特に2拍目の方。

165小節のバス。16分音符のFは二つともナチュラルを忘れないように。時々Fisになりかける事があります。

166小節のGnadeの最後のdeは軽く歌いましょう。

221・227小節の言葉を、前にgeduldiglichに変更しましたが、楽譜通りに戻します。

テノールはdとwで始まる言葉の前にnが付いてしまう事が多いので気を付けましょう。

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

通しました。

115小節のアルトは、3拍目の四分音符のGの音でmeを言います。

145小節のアルトは、Aの音でmeを言います。

テノールの最後のamenは、Aの音でmeを言います。

★Es ist erschienen

1度通しました。

★Herr, auf dich traue ich

1度通しました。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 山村

欠席：1名(バス)

備考

名阪さんが今日から復帰されました！

発声個人レッスンの予定

1月13日・・・大久保

1月20日・・・堀江

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2015年12月23日（水・祝）

練習箇所

D. Buxtehude: Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ, BuxWV20

H. Schuetz: Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Das Word ward Fleisch und wohnet unter uns, SWV385

Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

D. Buxtehude: Herzlich lieb hab ich dich, o Herr BuxWV4

記事

練習は午後3時から6時まで。

発声個人レッスンはお休み。

全体発声は、電車の人身事故の影響で水野先生が遅刻されたため、堀江さんにお願ひしました。

内容

★Du Friedefuerst

少しずつ区切りながら言葉を付けて歌い、復習しました。

★Ich bin eine rufende Stimme

ヴォカリーゼで音取りしました。

★Das Word ward Fleisch

ヴォカリーゼで音取りしました。

★Es ist erschienen

通しました。

★Herr, auf dich traue ich

通しました。

★Herzlich lieb hab ich dich

2.Versusと3.Versusの最後のAmenの部分を行いました。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 中西

欠席：1名(バス)

備考

練習後は「弁慶」で忘年会を行いました。

新年の練習は1月6日(水)開始です。

発声個人レッスンは辻村の予定です

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年12月16日 (水)

練習箇所

H. Schuetz:

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Es ist erschienen, SWV371

D. Buxtehude:

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr BuxWV41

Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ BuxWV20

記事

いつもの2階の部屋が使えないため、3階C室で練習しました。
発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。
全体発声は20分。

★Herr, auf dich traue ich

2回通しました。

★Es ist erschienen

2回通しました。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr 音取りが残っていた267小節から296小節までをヴォカリーゼで練習してから、そのまま最後まで歌い、そのあと言葉を付けて歌いました。

最初の1.Versusも先週ヴォカリーゼで通しただけなので、言葉を付けて1度通しました。

2.Versusから3.Versusの313小節までを通して歌いました。

※221と226～227小節の言葉をgeduldiglichに変更しました。

★Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ

音取り開始。段落ごとにヴォカリーゼと言葉で練習して、最後まで歌いました。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：大庭

バス：柿沼 山村

欠席：4人(ソプラノ1名・テノール2名・バス1名)

備考

新しい楽譜(コピー)を配布しました。

H.Schuetz:

Ich bin eine rufende Stimme, SWV383

Das Wort ward Fleisch und wohnt unter uns, SWV385

来週は年内最後の練習です。

祭日のため、練習は午後3時から6時までです。

発声個人レッスンはありません。

練習後は忘年会を行います。場所はいつも練習の後に寄っている「弁慶」です。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年12月9日 (水)

練習箇所

Heinrich Schuetz:

Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Dieterich Buxtehude:

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr BuxWV41

記事

発声個人レッスンは大庭さん(T)でした。
全体発声は33分。

内容

★Es ist erschienen
2回通しました。

★Herr, auf dich traue ich
3回通しました。
zu、duの発音に注意！

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr
1. Versus・・・ヴォカリーゼで通しました。
2. Versus・・・先週は204小節までをヴォカリーゼで音取りしましたが、今日は復習しながらその先の266小節までの音取りをして、初めて言葉も付けました。
215小節の第2ソプラノ4拍目は、216小節の第1ソプラノ2拍目と同じリズムにします。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：1名(バス)

備考

発声個人レッスンの予定
12月16日・・・大庭(A)

今日は予定通り総会を行い、役員・指導者・団費・指導者謝礼など、全て現行のままに決定しました。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年12月2日 (水)

練習箇所

Heinrich Schuetz:

Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Dietrich Buxtehude

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr BuxWV41

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。

全体発声は20分。

内容

★Es ist erschienen

曲に慣れるように何度か通しました。

★Herr, auf dich traue ich

zuのuが浅くならないように注意。

nachのaが短くならないように。カタカナで書くと、ナツハではなくナーハのような感じで。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

先週は3.Versusの途中359小節から最後まで音取りをしましたが、今日は3.Versusの最初297小節から音取りして、最後まで歌いました。

2.Versusも204小節まで音取りしました。

言葉はまだ付けていません。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 堀江

テノール：小沢 翁長

バス：柿沼 中西 山村

欠席：3人(ソプラノ・アルト・テノール各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

12月9日・・・大庭(T)?

12月16日・・・大庭(A)?

12月23日・・・未定

来週は8時から総会を行います。

楽譜代は4千円です。団費と一緒に会計係までお願いします。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年11月25日 (水)

練習箇所

Heinrich Schuetz:

Es ist erschienen, SWV371

Herr, auf dich traue ich, SWV377

Dietrich Buxtehude:

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr BuxWV41

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。

全体発声は22分。

内容

★Es ist erschienen

und、zuのuが浅くならないように。

zuechtigetのウムラウトに注意。日本語のチュにならないように、もう少しイの要素を多くしましょう。

waereのウムラウトは明るいエです。

12ページ2段目最後の第1ソプラノのGは、#を付けてGisにします。その前のアルトのGに#を付けたのに合わせます。

★Herr, auf dich traue ich

最初に42頁のgの部分から最後までをヴォカリーゼで音取りしてから全曲通し、そのあと言葉を読んでから、言葉を付けて一度通して歌いました。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr 359小節から最後までをヴォカリーゼで細かく区切って音取りしてから、最後に通しました。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 堀江

テノール：小沢 翁長

バス：柿沼 中西

欠席：3人(アルト・テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

12月2日・・・柿沼

12月9日・・・大庭()

12月16日・・・大庭()

♪ 演奏会のお知らせ

明治学院大学グリークラブ第66回定期演奏会

12月6日(日) 14時30分 明治学院白金チャペル

第1ステージ

信長貴富作曲 谷川俊太郎作詩

混声合唱曲集「かなしみはあたらしい」

指揮： 水野克彦

合唱： グリークラブ

ピアノ： 山本由香子

第2ステージ

J.S.Bach: 「クリスマス・オラトリオ」 BWV248(第1部～第3部)

指揮： 水野克彦
ソプラノ：松井亜希
アルト： 谷地敏晶子
テノール：松原 陸
バス： 森野光生
管弦楽： 東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー・アンサンブル
合唱： オールグリークラブ(現役、OB・OG)

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2015年11月18日 (水)

練習箇所

Heinrich Schuetz:
Es ist erschienen, SWV371
Herr, auf dich traue ich, SWV377

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。
全体発声は27分。

★Es ist erschienen

最初にヴォカリーゼで復習してから、言葉を付けて最後まで歌いました。

★Herr, auf dich traue ich

ヴォカリーゼで最後まで歌いました。来週言葉を付けます。

シュッツ2曲の歌詞を水野先生が訳して下さいだったので、プリントを配布しました。

ブクステフーデ2曲の楽譜を配布しました。

Du Friedefuerst, Herr Jesu Christ BuxWV20
Herzlich lieb hab ich dich, o Herr BuxWV41

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：翁長 大庭
バス：柿沼 中西
欠席：2人(テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
11月25日・・・堀江
12月2日・・・柿沼

2015年11月11日（水）

練習箇所

Heinrich Schuetz: Es ist erschienen, SWV371

記事

発声個人レッスンは辻村でした。全体発声は20分。

内容

音取りの前に、最初に臨時記号等についての注意と変更。

- ・4小節目最後のアルトは欄外の括弧を採用してナチュラルを付けてCにします。
 - ・10ページ2段目最初の小節・・・第1ソプラノの最後はナチュラルを付けてFにします。
- 次の小節の第2ソプラノとアルトも、2番目の音はナチュラルを付けてFにします。
- ・10ページ3段目最初の小節・・・テノールの最後の音はCです。直前の第2ソプラノのCisに引きずられないように注意。
 - ・11ページ2段目最初の小節・・・バスの最初の音はFisです。その1小節前でFを歌っているので間違えないように注意。
 - ・12ページ2段目最後の小節・・・アルトのGは#を付けてGisにします。
 - ・同じ小節のテノールのCは、前の小節のバスのCisに引きずられて#を付けないように注意。
 - ・12ページ3段目4小節のアルトは欄外の括弧を採用してナチュラルを付けて下さい。
 - ・13ページ3小節目のアルトは括弧を採用してGにします。
 - ・15ページ1段目最後のアルトはCの音に#を付けないように。直前で第1ソプラノがCisを歌っているので引きずられないように注意。
 - ・同じ小節最後の第1ソプラノ最後の音は括弧を採用してCにします。
 - ・15ページ2段目最後のアルト・・・8分音符二つで「シミ」と分かれているところは、括弧を採用して四分音符のH(シ)一つにします。
 - ・15ページ最後の第1ソプラノのCは#を付けないように注意。

ヴォカリーゼで最後まで音取りしました。

まだ言葉を付けていませんが、読みにくい字体なので、水野先生が歌詞を普通の字体に書き出して下さったプリントを配りました。参考にして下さい。来週、訳も配布します。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石
 アルト：大久保 大友 大庭 堀江
 テノール：大庭 翁長
 バス：柿沼 中西 山村
 欠席：1名(テノール)

備考

発声個人レッスンの予定

♪ 11月18日・・・大久保